

## 2020 年第 2 四半期および上半期決算

### Press release

パリ、2020 年 8 月 3 日

#### 2020 年第 2 四半期と 2020 年上半期の業績はコロナ危機の影響を受けるが、5 月中旬以降に回復

フランス国内リテールバンキング事業と国際リテールバンキング事業は、2020 年第 2 四半期前半は影響を受けたが、5 月中旬以降に回復

保険、プライベートバンキング、トランザクション・バンキング事業は底堅く推移

ファイナンス&アドバイザー事業および債券・為替事業は好調；4 月と 5 月はストラクチャード商品にとって不利な市場環境となったが、5 月中旬以降は徐々に回復

グローバルマーケット&インベスターサービス事業の方針の見直しに係る非現金特別項目：のれんの減損（6 億 8,400 万ユーロ）および繰延税金資産（6 億 5,000 万ユーロ）

2020 年第 2 四半期のグループ当期純利益：12 億 6,400 万ユーロの損失（2020 年上半期：15 億 9,000 万ユーロの損失）、非現金特別項目控除後の修正再表示後の 2020 年第 2 四半期のグループ当期純利益：7,000 万ユーロ

#### 経費は大幅に減少

営業費用は 2020 年第 2 四半期に 9.6%減、2020 年上半期に 5.8%減と、2020 年度の基礎営業費用を 165 億ユーロに抑えるという目標を強化している  
中期的に経費削減を目標

#### リスク費用の半分は IFRS 第 9 号およびカウンターパーティ格付けの引き下げが要因

2020 年第 2 四半期の純リスク費用は 12 億 7,900 万ユーロ（2019 年第 2 四半期の 4 倍）となったが、これにはステージ 1 とステージ 2 において予想される信用損失に対する 6 億 5,300 万ユーロの引当金が含まれている。2020 年上半期のリスク費用は 81 ベーシスポイント

2020 年通期のリスク費用は 70 ベーシスポイントから 100 ベーシスポイントの間の下端になる見通し

#### 堅牢な資本および流動性状況

2020 年 6 月 30 日時点の普通株式等 Tier 1 比率は 12.5%<sup>(1)</sup>（試算ベースの値：12.6%<sup>(2)</sup>）と、規制上の要件を約 350 ベーシスポイント上回っている

資金調達計画の 81%を達成、流動性カバレッジ比率（LCR）は 167%<sup>(3)</sup>

2020 年末時点の普通株式等 Tier 1 比率は、11.5%~12%の間の上端になる見通し

#### ストラクチャード商品部門の戦略的見直しの完了

株式ストラクチャード商品における世界での主導的地位を維持し、関連するリスクプロファイルを削減する；2022 年~2023 年までに約 4 億 5,000 万ユーロの経費を削減し、グローバルマーケット事業の収益性を改善する

当グループの最高経営責任者であるフレデリック・ウデアは次のように述べています：

「2020 年上半期、ソシエテ・ジェネラルは今回の健康・経済危機の影響にうまく適応した結果、お客様や従業員を支えることができ、信頼されるパートナーとしての地位を強化しました。4 月と 5 月には、世界的な経済活動の減少による影響を大きく受けましたが、5 月中旬以降は心強い回復が確認されています。非常に堅牢な資本基盤や良質なローンポートフォリオを活かし、ソシエテ・ジェネラルはコロナ禍という新たな環境に適応した業務を継続し、特に経費削減に努めていきます。また、顧客重視、企業の社会的責任、デジタル・テクノロジーに基づく業務の効率化という 3 つの優先目標に焦点を当てた、次の戦略的ステージとなる 2021 年~2023 年への新たな取り組みに着手しています。」

本書の脚注\*はグループ編成の変更および為替レートの変動による影響の修正再表示後の数値を示す

(1) IFRS 第 9 号の段階的实施に伴う 20 ベーシスポイントを含む

(2) 発表された SG Finans (+10 ベーシスポイント) の売却に対する試算ベースの値

(3) 四半期平均

## グループ連結決算

ソシエテ・ジェネラル	2020年	2019年	増減		2020年	2019年	増減	
	第2四半期	第2四半期			上半期	上半期		
銀行業務純利益	5,296	6,284	-15.7%	-13.5%*	10,466	12,475	-16.1%	-14.2%*
営業費用	(3,860)	(4,270)	-9.6%	-7.7%*	(8,538)	(9,059)	-5.8%	-4.0%*
基礎営業費用 <sup>(1)</sup>	(3,984)	(4,152)	-4.0%	-2.0%	(8,185)	(8,500)	-3.7%	-1.8%
営業総利益	1,436	2,014	-28.7%	-25.9%*	1,928	3,416	-43.6%	-41.6%*
基礎営業総利益 <sup>(1)</sup>	1,312	2,132	-38.5%	-36.2%	2,281	3,975	-42.6%	-40.9%
純リスク費用	(1,279)	(314)	x 4.1	x 4.1*	(2,099)	(578)	x 3.6	x 3.7*
営業利益	157	1,700	-90.8%	-90.4%*	(171)	2,838	n/s	n/s
基礎営業利益 <sup>(1)</sup>	33	1,836	-98.2%	-98.2%	182	3,415	-94.7%	-94.6%
その他の資産からの純損益	4	(80)	n/s	n/s	84	(131)	n/s	n/s
その他資産からの基礎純損益 <sup>(1)</sup>	4	4	+0.0%	-0.8%	161	6	x 26	x 80.3
のれんの減損	(684)	0	n/s	n/s	(684)	0	n/s	n/s
法人所得税	(658)	(390)	+68.7%	-69.4%*	(612)	(645)	-5.1%	+3.0%*
<b>グループ報告当期純利益</b>	<b>(1,264)</b>	<b>1,054</b>	<b>n/s</b>	<b>n/s</b>	<b>(1,590)</b>	<b>1,740</b>	<b>n/s</b>	<b>n/s</b>
グループ基礎当期純利益 <sup>(1)</sup>	8	1,247	-99.3%	-99.4%	0	2,332	-100.0%	n/s
ROE	-10.9%	6.9%			-7.2%	5.5%		
ROTE	-6.5%	8.3%			-5.3%	6.9%		
基礎ROTE <sup>(1)</sup>	-1.3%	9.7%			-1.3%	9.1%		

(1) 特別項目および IFRIC 第 21 号による影響の線形化の修正再表示後

2020年7月31日に開催されたロレンツォ・ビーニ・スマギを議長とするソシエテ・ジェネラルの取締役会において、ソシエテ・ジェネラル・グループの2020年第2四半期および上半期の業績が承認された。

基礎データから公表データへの移行に伴う様々な修正再表示については、付属書類2の第5項（英文）を参照のこと。

— 中略 —

## 連結貸借対照表

資産の部（単位：百万ユーロ）

	2020年6月30日	2019年12月31日
中央銀行	144,417	102,311
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	419,147	385,739
ヘッジ目的デリバティブ	21,845	16,837
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	55,606	53,256
償却原価で測定する有価証券	14,877	12,489
償却原価で測定する銀行預け金	55,292	56,366
償却原価で測定する顧客貸出金	458,500	450,244
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	470	401
保険事業への投資	163,219	164,938
税金資産	5,052	5,779
その他の資産	77,196	68,045
売却目的保有非流動資産	3,788	4,507
持分法適用投資	106	112
有形および無形固定資産	29,812	30,652
のれん	4,045	4,627
<b>合計</b>	<b>1,453,372</b>	<b>1,356,303</b>

## 負債の部（単位：百万ユーロ）

	2020年6月30日	2019年12月31日
中央銀行	2,980	4,097
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	405,113	364,129
ヘッジ目的デリバティブ	12,705	10,212
発行債券	136,261	125,168
銀行預金	121,542	107,929
顧客預金	444,470	418,612
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	8,629	6,671
税金負債	1,239	1,409
その他の負債	94,115	85,062
売却目的保有非流動負債	928	1,333
保険契約関連負債	140,701	144,259
引当金	4,348	4,387
劣後債	14,662	14,465
<b>負債合計</b>	<b>1,387,693</b>	<b>1,287,733</b>
<b>株主資本</b>		
<b>株主資本、グループ持分</b>		
発行済普通株式、資本性金融商品および資本準備金	30,115	31,102
利益剰余金	32,457	29,558
当期純利益	(1,590)	3,248
<b>小計</b>	<b>60,982</b>	<b>63,908</b>
未実現・繰延キャピタル損益	(323)	(381)
<b>株主資本、グループ持分小計</b>	<b>60,659</b>	<b>63,527</b>
非支配持分	5,020	5,043
<b>株主資本合計</b>	<b>65,679</b>	<b>68,570</b>
<b>合計</b>	<b>1,453,372</b>	<b>1,356,303</b>

— 中略 —

---

## ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルはユーロ圏最大級の金融サービスグループです。多角的かつ総合的なバンキングモデルを採用しています。強固な財務基盤を維持し、イノベーションにおける専門性で高い実績を有しています。持続可能な成長を目標とする経営戦略を実行しており、お客さまから信頼されるパートナーとなり、地域社会と経済に有益な変化をもたらすことを目指しています。また、信頼のおける革新的な金融商品およびサービスの提供を通じて、日々、お客さまとともにより良い持続可能な未来を築くことに努めています。

ソシエテ・ジェネラルは、確固たる地位を築いている欧州を拠点に世界に広がるネットワークを通じて 150 年以上にわたり世界経済において重要な役割を果たしています。世界 62 カ国の拠点に 13 万 8,000 人を超える従業員を擁し、2,900 万の個人、法人、機関投資家のお客さまに様々なアドバイザー・サービスと顧客ニーズに合わせた金融ソリューションを提供しています。

当グループは、以下 3 つの主力業務部門から構成されています。

- ・ フランス国内リテールバンキング部門：ソシエテ・ジェネラルの支店網とクレディ・デュノール、ブルソラマのブランド名で、最先端のデジタル技術を駆使した総合的な金融サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。
- ・ 国際リテールバンキング&金融サービス部門：新興国および専門性の高い主要金融ビジネスにおいて主導的地位を築いています。
- ・ グローバルバンキング&インベスターソリューションズ部門：定評ある高い専門性、統合型ソリューションを主要な市場で提供しています。

ソシエテ・ジェネラルは、社会的責任投資指数の代表格であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（世界および欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、Euronext Vigeo（世界、欧州、ユーロ圏）、4 つの STOXX ESG リーダーズ指数、MSCI 低炭素リーダーズ指数の構成銘柄です。

---

詳しくは当社のウェブサイト [www.societegenerale.com](http://www.societegenerale.com) またはツイッター [@societegenerale](https://twitter.com/societegenerale) をご覧ください。